東奥日報2026年10月24日(土)付掲載



第２章が始まる

開幕まで１週間 県人４人が抱負

青森で育つクラシックの祭典は第2章へ―。「青い海と森の音楽祭2026」（東奥日報社などでつくる実行委員会主催）は、31日の開幕まであと1週間。今年も第一線の音楽家たちが青森の地に集い、各地に珠玉の演奏を届ける。「故郷に音楽の種をまく」との思いを胸に、9日間の祭典を心待ちにする本県出身の音楽家たち。音楽祭を立ち上げた指揮者の沖澤のどかさん（青森市出身）、ソプラノ歌手の隠岐彩夏さん（五所川原市出身）ら4人に、いまの思いを聞いた。（秋村有香、長谷川恵子）

青い海と森の音楽祭
10/31−11/8

どこにもない音楽祭に



©Felix Broede

沖澤のどかさん（青森市出身）
芸術総監督・指揮

いよいよ始まるワクワク感でいっぱいです。出演者とのやり取りも盛んになり、胸の高鳴りを今すごく感じています。昨年のアウトリーチ（出前演奏会）初日からすでに翌年以降の話が参加者の中で盛んに交換されていました。5回、10回と続いた記念にはこんな大きな企画ができるかもとか。初日の雰囲気はこれからもっていくと思います。

今年は青森公立大の学生がいろいろと企画してくれたり、東通村の小学生が稲刈りしたお米を出演者に贈ってくれたりと「手作業」が一つのキーになっています。

このデジタルの時代に逆にすごく新しい、自分たちで作っている実感が持てる手作りの音楽祭になってきています。一流の音楽家を呼ぶということと相まって、どこにもない音楽祭になっていると感じます。

10月31日の中泊町の中里中学校でのアウトリーチは地元の吹奏楽団と一緒に「故郷」を演奏します。11月2日の青森市のサンロード青森でのアウトリーチにはハープ奏者の吉野直子さんが出演してくださることになりました。ハープの音を生で聞けるのはとても珍しいので、ふらっと気軽に聴きに来てもらえたらと思います。

11月6日に弘前市民会館、同8日に青森市のリンクステーションホール青森で開くオーケストラコンサートではメンデルスゾーンの交響曲第4番「イタリア」を演奏します。メンデルスゾーンは私がずっと大事にしてきた作曲家。自然豊かな風景が思い起こされる曲が多く、青森での演奏にはとても合っていると思います。最終楽章の躍動するリズムなどさまざまな要素を楽しんでほしいです。

普段とは比較にならないほどお客さんの反応が直に感じられ、私たちもすごく励みになっています。青森の音楽祭を自慢と誇りに思ってもらえるよう、いい演奏に力を尽くします。ぜひ楽しみに来てください。

情熱の音 今年も触れて



©Ryo

隠岐　彩夏さん（五所川原市出身）
音楽主幹・ソプラノ

初めての音楽祭で期待と不安が大きかった昨年。ふたを開けてみれば多くのお客様が会場に来てくれて、たくさんの笑顔と拍手をもらいました。お金では絶対に買えないぬくもりをいただき、感謝しかありません。熱い応援のおかげで素晴らしいスタートが切れました。

音楽祭の経験は私自身にも大きな影響を与えてくれました。これまでは演奏の質を高めたり、作品を深く掘り下げたりすることにフォーカスしがちでしたが、「音楽を届ける」とはどういうことかを改めて深く考える契機になり、視野を広げてもらいました。

昨年のアウトリーチ（出前演奏会）で訪れた東通小との縁が続いて、今年は子どもたちが育てたお米を出演者に提供してくれることになりました。想像もしていなかったお返しに、とても感激しています。

公式グッズを手がける「あおもり藍」の皆さんなども含め、音楽祭という「お祭り」を通じて、どんどんつながりができるのはうれしいですね。

今年は私の母校・五所川原高校をアウトリーチで訪れます。思い出が詰まった校舎で歌うことに少し照れくささもありますが、音楽はこんなに面白くて、自由で、楽しんでやっているよ、というのを伝えられたらいいなと思います。

開幕直前のいま、私たちもリハーサルを始めています。先日もハープ奏者の吉野直子さんと合わせてきましたし、青森で最終調整できるよう進めています。オーケストラと合わせる曲は1人で練習するしかないので、演奏でどんな響きがするのか想像しながら練習しています。

（沖澤）のどかちゃんを中心に素晴らしい演奏家の皆さんが青森に来てくれます。情熱を持って二つの音楽を生み出す、生の音にぜひ触れていただきたい。出演者の一生懸命で幸せに満ちた表情も見どころの一つです。

故郷で演奏うれしい



山川永太郎さん（青森市出身）
トランペット

青い海と森の音楽祭の誕生で、年に一度、青森で演奏する機会ができたことが本当にうれしいです。音楽祭の立ち上げに関われたことも貴重な経験でした。昨年の本番ではソロを担当しましたが、成長した姿を見せたい思いもあって不思議な高揚感と緊張感があったのを覚えています。

改めて振り返ると、オーケストラメンバーはとんでもないプレーヤーが集まっているなと感じました。音楽に対するアイデアを演奏中に披露し合う感覚で、それがリハーサルや本番中も自然に行われている。すごく刺激になりました。

今年はファミリーコンサートでソロを演奏します。ジブリ作品「天空の城ラピュタ」で有名な曲「ハトと少年」です。小学6年生のおいもトランペットを吹いているので、やっぱりかっこいいところを見せたいですよね。

昨年の音楽祭で出演者たちが青森のことを大好きになってくれて、今か今かと開幕を待ち望んでいます。音楽家は人と触れ合うのが好きな人が多いので、ぜひ演奏の感想を伝えてみてください。実際の声は活力に変わるので、音楽祭を僕たちと一緒に作ってくれたらうれしいです。

後輩と共演 楽しみ

高橋　洋太さん（青森市出身）
芸術総監督補佐・音楽主幹補佐・コントラバス

青い海と森の音楽祭は青森の宝だと思っています。地元企業をはじめ県民の皆さまに支えてもらい、2年目が開催できることを本当に素晴らしいことだと感じています。

昨年のアウトリーチ（出前演奏会）では、大人も子どもも徐々に表情が変わっていくのを見て、やって良かったと思いました。演奏しに行ったこちらがパワーをもらい、まるで昨日のことのように思い出せます。何年かかっても県内の隅々まで音楽を届けたいですね。

11月7日の「0歳からのファミリーコンサート」では、後輩に当たる青森山田高校吹奏楽部員と共演します。昨年は見ているこちらが緊張し「頑張れ」という温かい気持ちになりました。今年も楽しみにしています。

また、数年前に都内で演奏し、大いに盛り上がったモンティの「チャルダッシュ」をソロで演奏します。バイオリンの曲がコントラバスで弾くとどのように聞こえるのか楽しんでもらえたらうれしいです。

音楽祭が起爆剤となってクラシック音楽好きが増え、「第二の沖澤のどか」が現れてくれることを願っています。

青い海と森の音楽祭 ２０２６主な日程

♪アウトリーチ（出前演奏会）
10月31日（土）
中里中学校　（中泊）
11月1日（日）
八戸高等支援学校　（八戸）
特別養護老人ホーム八甲荘　（十和田）
11月2日（月）
サンロード青森　（青森）
五所川原高校　（五所川原）
※サンロード青森のみ一般観覧可能。午前11時開演

♪室内楽公演
11月3日（火・祝）
午後2時
青森公立大学交流会館講堂　（青森）

♪室内楽特別公演
11月4日（水）
午後6時半
県立美術館アレコホール　（青森）

♪弦楽合奏団公演
11月5日（木）
午後6時半
東奥日報新町ビルＮｅｗ's ホール（青森）

♪オーケストラコンサート
11月6日（金）
午後6時半
弘前市民会館　（弘前）

♪ファミリーコンサート
11月7日（土）
午後3時
リンクステーションホール青森（青森）

♪オーケストラコンサート
11月8日（日）
午後2時
リンクステーションホール青森（青森）

無断での複製・転載・生成AI利用を禁じます